

(第2号様式)

真和志 第3457号
令和 5年 2月 27日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立真和志高等学校
校長 儀 間 昌 子
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月19日(火)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席
第2回	日時	令和4年12月19日(月)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席
第3回	日時	令和5年2月20日(月)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各学期における教育活動報告(生徒の活躍・進路指導状況・生徒指導状況等)に対する意見・助言
- ②学校経営ビジョンに対する意見・助言
- ③授業観察
- ④学校評価アンケート案への助言・提案
- ⑤学校評価結果への指導助言

3 学校評議員の意見

- ①生徒指導、中途退学対策の指導・支援の状況をふまえて、学校全体で指導方法の改善ができないか。学科、コース、クラスの再編を考えてもよいのではないか。
- ②ポジティブカードをもらった生徒は表彰があるのか。
- ③ゆい教室は、どういう位置づけなのか。
- ④進路決定率90%越えは昨年を上回っている。ポジティブ行動支援、共同学習を今後も充実させてほしい。学校における課題の解決には、学校における居場所づくり、魅力ある学校づくりが必要である。

4 学校運営に反映した事項

- ①教育相談やSC面談を充実させ、ケース会議における共通理解や外部機関との連携・協力のもと、生徒指導と中退対策を進めた。
- ②ポジティブカード20枚以上の生徒に対し、表彰とPTAからの副賞を授与した。
- ③「ゆい教室」は県教委による研究検証中であり、令和5年度も入学希望者に対応する。
- ④サポートルーム「和」を活用した生徒の居場所づくりを行い、生徒の活躍等は懸垂幕や学校HPで発信した。

5 課題その他

- ①ポジティブ行動支援等を活用した生徒の育成(5つの力/育成したい資質・能力)を継続。
- ②新生徒指導提要进行をふまえた生徒支援と学校活性化の取り組み。
- ③学習におけるタブレット端末の効果的な活用及び授業の工夫改善。
- ④「ゆい教室」を含め、施設安全面等学習環境の整備。